

口腔デジタルサイエンス特論（星 憲幸）

Advanced Course of Oral Digital Science (Noriyuki Hoshi)

キーワード

- ① デジタルデータ
- ② CAD/CAM
- ③ 精度
- ④ 光学印象
- ⑤ DX

関連する学位授与方針
DP(ディプロマポリシー)

①,②,④,⑤

関連する教育実施方針
CP(カリキュラムポリシー)

①,②,④,⑤,⑥

授業概要

デジタルデータを用いた歯科臨床の現時点での到達点を説明し、更に今まで先行研究で得られた内容を概説し、今後求められるデジタル技術について議論する。さらに、デジタル技術を用いた研究の原理原則と分析方法について事例を交えて解説し、研究の在り方を討議する。

授業科目の学修目標

デジタル技術を用いた歯科臨床での基礎的研究や臨床研究の在り方を説明し、研究を立案・実行するために必要な知識を習得する。

授業計画

- ① デジタル技術の歯科臨床応用の概要・基礎的事項: 6コマ 星憲幸
- ② デジタル技術を用いた研究の基礎的知識の修得
 - ・デジタルに関わる各歯科臨床分野: 10コマ 星憲幸
 - ・デジタル機器の臨床での取り扱い: 6コマ 星憲幸
- ③ 歯科におけるデジタル技術研究の在り方
 - ・医科との比較: 4コマ 星憲幸
 - ・医療として求められる先端技術: 4コマ 星憲幸

教科書および参考書

スタッフ用IOS入門 クイテッセンス出版, 2024

履修に必要な予備知識や技能、および一般的な注意

歯科臨床およびデジタルに関わる基礎的な予備知識が必要。また、各種論文を理解する能力が求められる。

大学院生が達成すべき行動目標

- ① デジタル技術の概要・基本的事項を説明できる。
- ② デジタル技術研究の基礎的知識を説明できる。
- ③ 歯科におけるデジタル技術研究について説明できる。

評価

試験	小テスト	レポート	成果発表	ポートフォリオ	口頭試問	その他
40%	0%	30%	0%	0%	30%	0%

評価の要点

- ・試験は、授業計画で行った講義の知識の理解度を筆記試験にて判定する。1回: 40%
- ・レポートは、講義中に指定された課題を提出する。15% × 2回=30%
- ・口頭試問は、講義ごとに毎回行い、その日の理解度を判定する。1% × 30回=30%

理想的な達成レベルの目安

理想的な達成レベルは80%以上とする。